

「理科」 授業のデザイン

授業者：原島 鷹

1 日時 平成30年6月5日（火）5校時

2 学級 3年 5組

3 題材（単元） 酸・アルカリと塩

4 本時の授業

(1) 目標 身のまわりには、酸性を示す水溶液が多くあることに気づかせ、酸に興味をもたせる。

(2) 授業の取り組み

身のまわりには、酸性を示す水溶液が多くあることに気づかせ、酸に興味をもたせる。酸性の水溶液の性質を調べる実験を行い、共通の性質を見出させる。酸の水溶液の共通点は水素イオンであることを見出させる。

(3) 流れ

学習内容と学習活動	指導上の留意点等
<p>①本時の課題と流れを確認する。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">「酸」とはどんなものを言うのだろう</div>	
<p>②基礎の課題</p> <p>●わたしたちの身の回りには、どんな「すっぱいもの」がありますか。思い出すものを出しあってみましょう。</p> <p>③ジャンプの課題</p> <p>●いろいろな酸の分子を想像しよう。</p> <p>●酸の分子の共通点はなんだろう。</p> <p>④まとめ</p> <p>●水溶液中で水素イオンを生じるものを酸という。</p>	<p>・お酢、梅干し、みかん、グレープフルーツなど生徒は口々に意見を言うと思われる。中には、「教師が要求する答え」が返ってこないこともあるかもしれないが、詳しいことは学習を進めていくとはっきりすることなので細かい訂正などをしてシラケさせないように留意する。</p> <p>・分子の形や構成原子に注目できるように原子ごとに色分けさせる。</p> <p>・無理に1時間で完結させずに、時間が足りなかったら水素イオンに注目する作業は次の時間にまわす。</p>